

松本市市民活動

サポートセンター通信

NO.15

発行元：松本市市民活動サポートセンター

〒390-0874 松本市大手 3-8-13

松本市役所大手事務所 2 階

TEL/FAX：0263-88-2988

E-mail：support-center@support-center.jp

URL：http://www.support-center.jp

「中信多文化共生ネットワーク」発足！

<http://ctn.iinaa.net/index.htm>

「国籍や文化の違いを超え、お互いに理解しあい、心から交流しあって住みやすい社会を実現する」ことを目指して、「中信多文化共生ネットワーク」が去る 3 月 23 日発足しました。

このネットワークは、中信地区に暮らす約 1 万人の多国籍市民を支援されてきた方々と、当事者である外国由来の方々、そして行政が協力していく場を設けることが必要だという思いから設立されました。きっかけは平成 18 年 10 月、サポートセンター主催で中央公民館、広報国際課の協力のもと開催された「これからの国際交流を考える」と題した交流会でした。その後、当事者、支援者、行政が参加した定期的な集いへと発展し、それが〈情報共有と連携〉を図るネットワーク設立につながりました。

代表の信州大学准教授佐藤友則さんは、

「今、子どもたちへの教育支援が一番必要。生活言語はできるが学習言語は難しく、不登校などになってしまう。精神的なケアが重要」と、現場に入るボランティアの必要性を訴えていました。すでに松本市内の小学校では、教育支援が始まっています。



現在は、学習会という形で関係者が顔を会わせて話し合うことをベースに、メーリングリストでの情報発信や相談受付も行なっています。学習会では、国際結婚から労働問題まで興味深いテーマが話し合われ、ネットワークが太くなっていくことや、さらには、中信地区全体の交流の拠点施設となる「(仮称)中信多文化プラザ」の設立も目指しています。

「無理はせず、活動する人が活動しやすくやることが目的」と佐藤さんは強調しました。生活支援や日本語支援のネットワーク化をさらに進めていくことも課題です。このネットワークによって市民の意識が高まり、「外国の方にも日本人にも住みやすい地域社会づくり」の実現が目標です。

～ 学習会情報 ～

連続講座「世界のひとと創る地域の会」第 2 回

「外国由来の子のために学校にボランティアに行こう！」

◆日 時：6 月 6 日 (金) 19 時～

◆場 所：Mウイング (松本市中央公民館)

問合せ先

◆事務局 (能勢)：090-9240-1057

◆メールフォーム：<http://ctn.iinaa.net/mail.htm>

☆ 平成 20 年度サポートセンター自主事業のお知らせ ☆

サポートセンターでは、昨年度に引き続き、下記自主事業を予定しています。

内容の詳細につきましては、皆さんからいただいたアンケート結果等も参考にさせていただき考えてまいります。多くの皆さんのご参加をお待ちしております。

◆ 分野別交流会・しみんサロン

昨年までの分野別交流会をきっかけに、「まつもと市民環境大学」や「中信多文化共生ネットワーク」等のネットワーク組織が立ち上がりました。そこで、今年度の交流事業は、それらの関連団体の皆さんと協働で、活動の広がりや、異業種、異領域へのつながりへと発展させていきたいと思ひます。

昨年からはじめた「しみんサロン」子ども編は、年 4 回 (5 月、8 月、11 月、2 月) の定期開催を予定。さらに、若者の地域活動を応援する“しゃべり場”が新たに登場します。

◆ 市民活動育成講座

昨年度に引き続き「ファシリテーター養成講座」を開催します。今年度は、昨年度からのステップアップ講座として、内容をより実践的にした中級編も企画中です。

◆ 市民活動フォーラム

今年度は、企画段階から登録団体等多くの皆さんに関わっていただき、サポートセンターのお祭りとしてイベントを盛り上げていきたいと思ひます。12 月上旬開催予定です。

このコーナーでは、当センターに団体登録のある、さまざまな活動団体をご紹介します！！
今回、お話をうかがったのは、「NPO法人てくてく」と「フリマネット信州」の両団体です。

NPO法人 てくてく

「NPO法人てくてく」設立の経過は、理事長の桑原美由紀さんが精神障害者を家族に持ったことがきっかけだった。「誰もが可能性を発揮して意義ある人生を送る」というノーマライゼーションの思想に基づき、平成15年に精神障害者の日常生活を支えるための「憩いの家アトリエてくてく」を、平成17年には社会参加・就労支援のための「共同作業所カフェギャラリーてくてく」を開所した。そしてこの活動を継続するためには、法人化した組織の基で運営することが何より必要だと痛切に感じ、平成18年に「NPO法人てくてく」を設立。

「カフェギャラリーてくてく」を訪ねると、ログハウス調の温かみのある店内に商品でもある絵が展示されていて、とても落ち着く空間だった。そしてクロックムッシュというホワイトソース、チーズ、ハムの入ったホットサンドがとてもおいしく印象に残った。てくてくの名前の由来は「飯田にある無農薬野菜の八百屋さんの名前で、“歩く速度で暮らしたい”という言葉に共感して使わせてもらった」とのこと。

◇連絡先 TEL/FAX : 34-0611
E-mail : spnn2299@gamma.ocn.ne.jp

さらに精神障害者が地域で生活を営むためには、「安心して暮らせる住居」と「気楽に相談できる人の存在」が必要であるとの思いから、平成18年にはグループホーム「てくてく」が建設された。

「“保護”するのではなく“機会”を与え合う事が大事」と桑原さん。一人ひとりが互いにかけてあげのない人間として尊重され、地域で安心して暮らせるような豊かな共生社会の実現を目指していく。

ボランティア募集

□ 塩尻の地域活動支援センター準備会

◆ イベント等の企画運営

◆ HPの開設・更新

賛助会員募集

一口・3,000円

<振替(ゆうちょ銀行)>

・口座番号 00540-3-39895

・加入者名 NPO法人てくてく



フリマネット信州

◇連絡先 TEL : 090-9664-5510/FAX : 0253-58-1702
E-mail : furimanet@yahoo.co.jp
イベント情報はHPから！ HP : <http://furimanet.com/>

「全国で年間180万トンもの衣料品のごみがでている」と代表の立石恵子さんは嘆いた。このごみのうち再利用されているものが5~10%で、しかも再資源化するのにも何段階も環境負荷がかかるが、フリーマーケットは環境負荷がかからずにリサイクルができる手法だ。こうしたフリーマーケットを環境活動、まちおこし、福祉支援、市民交流の観点からより深いものにできないかと考え市民団体として平成14年に活動を始めた。

活動内容は、市民参加型のリサイクルフリーマーケットの啓蒙推進をはじめ、行政と協働して世界カーフリーデーでのフリマとコンサートの企画運営、古切手やプラタブを回収して車イスにする活動支援、長野県外国籍児童就学支援会議(サンタ基金)、地元のアマチュア音楽家の発表の場作りなど、実に多岐に渡っている。またさまざまな活動団体の橋渡しコーディネートも行なっている。

去る4月29日、空港北のアルウィンで「アースデイ(※)」

まつもと2008」が行なわれた。フリーマーケットや野外ライブ、市民活動の発表、民族料理出店などが、ピクニックをしながら楽しめる。会場に入ると民族音楽の素晴らしい演奏が迎えてくれ、立石さんをはじめ古切手を集めて車イスにする活動ボランティアの高校生もイキイキと活動していた。

「友達が増えて、家族で楽しんで、不用品が減り、資源が有効活用される。そういう形のフリーマーケットを、楽しくできたらいいですね」と立石さんは微笑んだ。消費者運動としての市民参加型リサイクルフリーマーケットと、業者中心の蚤(のみ)の市や、無店舗販売の違いを明確化して、フリーマーケットをより文化活動として普及させること、市民が安心して楽しめる環境をつくることを目指していく。



ボランティア行専用保険

福祉活動などさまざまな行事における事故を補償します。

加入申込者

社会福祉協議会の構成員・会員及び社会福祉協議会が運営するボランティア・市民活動センターなどに登録されているボランティア・ボランティアグループ・団体や社会福祉協議会
※団体とは、社会福祉法人、NPO法人、社団法人、財団法人、学校法人、医療法人、地方公共団体、その他左記に類する団体です。

被保険者

傷害補償…行事参加者（主催者を含む）
賠償補償…行事主催者 ※参加者の実習を伴う行事の場合、行事参加者個人の実習中の賠償責任も補償します。

対象となる行事

地域福祉活動の一環として日本国内で行うボランティアに関する行事
(注) 1. 行政が主催する行事については、社会福祉協議会が共催・後援などの関連がないと対象になりません。
2. 学校からの加入申込みの場合、学校管理下（クラブ活動・課外指導中などを含む）にある行事は対象になりません。
3. 不特定多数の参加者が見込まれるために参加者か否かを特定できない行事は加入できません。

保険料(掛金)

Aプラン（宿泊を伴わない行事）		Bプラン（宿泊を伴う行事）	
A1 (1名につき)	1日 28円 (最低保険料560円)	1泊2日192円	5泊6日291円
		2泊3日236円	6泊7日296円
A2 (1名につき)	1日 126円 (最低保険料2,520円)	3泊4日241円	7泊8日410円
		4泊5日286円	8泊9日415円

※Aプランにおける一行事の最低加入人数は20名です。

—Aプラン・Bプランとも—

補償内容・補償金額

<死亡>500万円 <後遺障害>500万円(限度額) <入院>3,500円/日
<通院>2,200円/日 <賠償補償>2億円(限度額)

お申込は、松本市ボランティアセンターへ！

〒390-0833 松本市双葉4-16 松本市総合社会福祉センター5F TEL: 25-7311

豆知識⑫ ～基礎から学んで賢く活用～

NPO法人事業報告書のツボ



毎年この季節になると県への事業報告で苦労しているNPO法人も多いと思います。今回は事業報告にあたって注意すべきポイントを取り上げました。

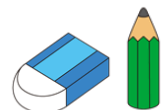
事業報告には、事業年度終了後3ヶ月以内に次の書類を提出する必要があります。

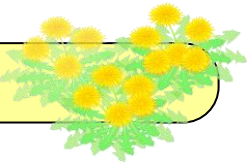
- ①事業報告書 ②財産目録 ③貸借対照表 ④収支計算書 ⑤役員名簿 ⑥10人以上の社員名簿

このうち①～④は主に計算に関わる書類として、前年度の繰越金や相互の数値に関連があります。これらの数値が不一致だと再提出などになってしまうので、次のポイントを参考に作成してみましょう。

—作成にあたってのポイント—

1. 前期繰越金（前期繰越収支差額）が前年度の次期繰越金と一致していること。
2. ①事業報告書の事業支出額と④収支計算書の事業支出額とが一致していること。
3. 定款で「その他事業」を規定している場合は、③④の書類を「本来の事業」分とは別に作成すること。
4. 事業を実施しなかった場合でもこれらの書類を提出すること。
5. 役員に変更があった場合、既に辞められた役員の任期についても⑤役員名簿に必ず記載すること。
6. 計算ミスに気をつけること。
7. 不要な資料は添付しないこと。
8. 税務申告の書類で代替しないこと。（特に損益計算書など）
9. 必ず2部提出すること。（提出は地方事務所又は県庁NPO活動推進室どちらでも可）





今、あなたのチカラが必要です！ ～サポーター大募集～

松本地域で生活する障害を持つ方々の学習・余暇の充実を図るため、月に1度スポーツや調理実習、イベント等さまざまな活動をしています。

参加者のみなさん・そしてスタッフとの繋がりを通して新しい自分を見つけてみませんか？

<H20年度活動計画予定>

5/17 (土)	松本の街並み散策
6/14 (土)	いちご大福作り
7/12 (土)	身だしなみ講座
8/23 (土)	スポーツ
9/21 (日)	そばうち体験
10/18 (土)	ハイキング
11/15 (土)	スポーツ
12/20 (土)	ケーキ作り
1/17 (土)	初詣
2/21 (土)	話し方(マナー)講座
3/28 (土)	カラオケ

◇問合せ：下記のいずれかにご連絡ください

松本圏域障害者相談支援センターWish(ウィッシュ)

TEL：26-1313/FAX：26-2345

E-mail：wish@po.mcci.or.jp

松本圏域障害者相談支援センターあいあい

TEL：64-1161/FAX：64-4400

E-mail：center-aiai@ymail.plala.or.jp

親が変われば子どもが変わる！

《親子コミュニケーション講座：2回シリーズ》

- ◇日時：第2回 6月21日(土) 13時半～15時50分
- ◇内容：親子のコミュニケーション方法の実践
- ◇場所：松本勤労者福祉センター2階 第2会議室
- ◇講師：親業訓練協会インストラクター 上原奈尾子
- ◇問合せ：(社)松本青年会議所 事務局
TEL：32-7646/FAX：36-2024
- ◇備考：無料託児所あり(申込時連絡ください)
対象：1～5才 定員50名

すこーれお母さんの学習会

テーマ：幸せな家庭を作るヒント

- ◇日時：5月30日(金) 10時～12時
- ◇場所：あがたの森 文化会館 2-7 会議室
- ◇講師：長野地区 担当講師 金子通子
- ◇備考：保育します。(予約してください)
- ◇問合せ：太田 35-2440

愛着の絆を結ぶために・・・

～わが子にあげたい「一生の幸福の鍵」～

- ◇日時：6月14日(土) 10時～12時半(受付9時半)
- ◇場所：なんなん広場(南部公民館)3階大ホール
- ◇講師：社会福祉学博士 ヘネシー・澄子
- ◇参加費：200円(資料代として)
- ◇備考：託児1人300円(先着20名程度)
*必ず事前にご連絡ください。
- ◇問合せ：子どもの心身共に健康な成長を願う親の会
TEL/FAX：33-7257(野見山)
E-mail：oyanokai-matsumoto@mbr.nifty.com

サポートセンターからのお知らせ

「アルプちゃん着ぐるみ」 貸し出します！

市制施行100周年のマスコットキャラクターだったアルプちゃん。

平成20年4月からは松本市のマスコットキャラクターとして再出発しました。

当センターでは、そんな「NEWアルプちゃん」の着ぐるみの貸出業務を始めました。イベントなどで是非ご活用ください。

貸出に関するお問い合わせは、当センターまで。



新スタッフ紹介

4月からサポートセンターに新しいスタッフが加わりました。

- ◇サポートセンターの安寧秩序維持のため粉骨砕身努力いたします。
主にHPとPCの管理を担当いたします。(高谷)
- ◇主に機関紙を担当させていただきます。分からないことばかりですが、人との出会いを大切に頑張りたいと思います。よろしく願いいたします。(新納)

編集後記

本年度サポートセンターの自主事業や登録団体の活動もいよいよスタートしました。当サポートセンターでは、市民の皆様の活動や施設利用がしやすくなるよう今後とも努めてまいりますので、どうぞ気軽にご意見ご要望などお寄せください。